

# 井の頭恩賜公園花便り



キンモクセイ



ウスギモクセイ



ギンモクセイ

これらは全てモクセイ科に属しますが、漢字で「木犀」と書きます。名前の由来は、樹皮が動物の犀(サイ)の肌似ているからと言われております。

**キンモクセイ**(金木犀:中国名は丹桂)は江戸時代に渡来しました。日本には雄株しかなく果実は見られません。ギンモクセイの変種で高木は10mにもなります。葉のわきに橙色の小さな花が多数束生して強い芳香を漂わせます。**ギンモクセイ**(銀木犀:中国名は桂花)の香りはキンモクセイと似ていますが、少し弱く感じます。また、**ウスギモクセイ**(薄黄木犀)もギンモクセイの変種で関西地方に多く植えられているそうです。葉はギンモクセイによく似てますが少し小さく、花はキンモクセイによく似ており黄白色で少し大きめです。



花便りに関するご質問は、井の頭恩賜公園案内所 (Tel.0422-47-6900) までお問い合わせください。